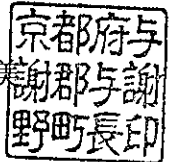


19与建第214号  
平成19年5月7日

国土交通省道路局長 様

京都府与謝野町長 太田 貴美



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありました上記について  
下記のとおり回答します。

#### 記

私たちが暮らす与謝野町・丹後地域は、京都府の北部に位置し、豊かな自然や四季折々の山海の幸と、悠久の歴史に育まれた文化・遺産を有しており、これらの地域資源の連携・活用を図ることにより、新しい価値観を創造し、地域の再生を目指しているところであります。

特に基幹交通体系の整備促進は、「人・もの・情報」が円滑に行き交う上で必須の社会基盤として、丹後地域が将来にわたって発展していく最重要課題であると位置づけていますが、道路網の整備が非常に立ち遅れており、産業・経済・文化の発展に大きな支障をきたしています。

京都府の南北を結ぶ背骨というべき京都縦貫自動車道は、約63%が開通しているものの、完成にはまだ遠く、丹後地域は、京阪神をはじめとした高速道路のネットワーク化から「分断」された状況となっています。

また、京都縦貫自動車道の実質的な延伸であります鳥取豊岡宮津自動車道については、与謝野町から京丹后市大宮町までの間が整備区間に格上げとなり、大いに期待しているところですが、丹後地域の3市2町の連携強化を図るためには、宮津天橋立IC以北の早期整備が喫緊の課題となっています。

このように、丹後地域にとっては高速道路の整備とそれに伴う生活道路の整備充実が地域の活性化を図る上では必要不可欠と考えており、真に必要な道路整備は計画的に進めるべきと考えています。

めまぐるしく変化する社会経済情勢や公共事業を取り巻く環境には大変厳しいものがありますが、地域の活性化を図るため最大限の努力をしていきたいと考えています。